

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-730	24-329	慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b> Association between alcohol consumption and peripheral artery disease: two de novo prospective cohorts and a systematic review with meta-analysis アルコール摂取と末梢動脈疾患の関連性：2つの新規前向きコホート研究と系統的レビューおよびメタ分析		
<b>執筆者</b> Shuai Yuan <sup>1</sup> , Jing Wu <sup>1</sup> , Jie Chen <sup>2</sup> , Yuhao Sun <sup>2</sup> , Stephen Burgess <sup>3,4</sup> , Xue Li <sup>5</sup> , Agneta Åkesson <sup>1</sup> , Susanna C Larsson <sup>1,6</sup>		
<b>掲載誌</b> Eur J Prev Cardiol. 2025 Jan 27;32(2):149-155.doi: 10.1093		
キーワード	PMID	
アルコール、コホート研究、メタ解析、末梢動脈疾患	38626304	
<b>要 旨</b>  <p><b>目的：</b> アルコール摂取と末梢動脈疾患 (PAD) リスクとの関連性は結論が出ていない。本研究では、2つの新規コホート研究および観察研究のメタ解析により、アルコール摂取と PAD リスクの関連性を検証した。</p> <p><b>方法と結果：</b> PAD リスクとアルコール摂取量の関係に関する研究を特定するため、系統的レビューを実施した。さらに、スウェーデン人成人 70,116 名と英国人成人 405,406 名からなる2つのコホートデータを用い、既発表研究および現行コホート研究の結果のメタ解析を行った。スウェーデンおよび英国のコホートにおいて、アルコール摂取量と新規 PAD 発症リスクの間には U 字型の関連が認められた。これら2つのコホートと既発表研究の結果のメタ解析では、非飲酒者または飲酒経験のない者と比較して、PAD の相対リスクは 0.83 [95%信頼区間 (CI) 0.77-0.89]、0.81 (95%CI 0.74-0.90)、0.94 (95%CI 0.88-1.00) であった。(CI) 0.77-0.89]、0.81 (95% CI 0.74-0.90)、0.94 (95% CI 0.83-1.07) であった。非線形メタ解析により、アルコール摂取量と PAD リスクの間に U 字型の関連性が示唆された (非線形性の P 値&lt;0.001)。PAD リスクは週 2 杯未満で最も低く、週 10 杯以上で顕著に高まる傾向が認められた。これらの関連性は、コホート研究やその他の観察研究を含む感度解析においても持続した。</p> <p><b>結論：</b> 週 2 杯以下の飲酒は PAD リスクの低下と関連し、週 10 杯以上の飲酒では PAD リスクが顕著に高まった。</p>		